







2016 年度「開発途上国の環境と開発:事例研究」(G3952) 9 月現地調査日程(結果) 2017-01-25

日	経路・活動	交通手段 ¹	宿 ²
8 月 31(水)	新潟国際情報大学一行 新潟 14:40 NH3240 15:45 成田 19:00 VN303 23:20 ホーチミン		
1 1(木)	13:40 新潟空港集合  新潟 14:40 NH3240 15:45 成田 19:00 VN303 23:20 ホーチミン ³ 空港で両替。 宿から手配してもらった車(4 人乗り 17 ドル)で宿へ。	6 月 27 日購入 HIS 発券 手数料込 55,120 円 ⁴	Blue River Hotel , 小さな窓付き ツイン(superior twin)1 室 570,000 ドン(約 3,000 円(ドン建てのため 為替レートにより変動)(朝食・税込 み、エアコン付き、ネット無料)エ レベーター無し。直接予約 283/2C Pham Ngu Lao Street, Dist 1, Ho Chi Minh 電話+84 8 383 764 83 携帯+84 90 367 9994 blueriver1126@yahoo.com http://www.blueriverhotel.vn/
2 2(金)	SIM カード購入。 市民生活を知る： ベンタン市場 南北に分かれていた時代を知る： ベトコンの秘密会議室のあったそばやで昼食、 旧大統領官邸、政府の腐敗に抗議して僧侶が焼身自殺をしたサロイ寺(Chua Xa Loi)    Cyclo Resto ⁵ で夕食(伝統的ベトナム料理を基にした創作料理のセットメニュー 1 種のみ) 	徒歩、タクシー	

¹ なるべく公共交通機関を使って、一般の人の生活に触れる。但し、スリ等に注意。

² いずれもお湯の出るバスルーム(熱帯地方の一般の宿にバスタブは無い。)付きで 2 人室の 1 室料金。但し、2 人室は 2 ベッドではなくダブルベッドのことがある。





³ 2015 年から、ベトナム出国後 30 日以内に再度入国するにはビザ(シングルで 6,500 円)が必要になった。その**ビザは 2 回目の入国時に使うものなので、1 回目では「used」にされないように注意。**

⁴ 当初予定していた大韓航空の料金が大幅に上がったため、6 月 27 日、ベトナム航空を予約・購入した。


⁵ <http://www.cycloresto.com.vn/> メールで予約。

3	3(土)	<p>ホーチミン 路線バス(6 時間、12 ドル、Phnom Penh Sorya) プノンペン ホーチミン市内。国境の税関で荷物を降ろす。2014 年まではメコン川をフェリーで渡ったが、その後上流側に橋が完成した。</p>  <p>SIM カード購入。</p>	路線バス(Giant Ibis)	<p>Home Chic Hotel(全 23 室) 朝食付き 1 室 3,228 円(Agoda)。エアコン付き、wifi 無料。小さなプールあり。 No. 17, St. 282, Koeung Keng Kang I Khan Chamka Morn Phnom Penh 電話+855 77 556 528 http://www.homechichotel.com/ https://www.facebook.com/Home-Chic-Hotel-854316604714239/</p>
		<p>集中講義の後にベトナム航空でプノンペンに入る者 新潟 14:40 NH3240 15:45 成田 19:00 VN303 23:20 ホーチミン⁶ 宿から手配の車(深夜割増 5 ドル込で 25 ドル) Happyland Hotel (6 月 29 日 Agoda で予約。2,839 円) 102-104 Ly Tu Trong Street, District 1, Ho Chi Minh City Phone 08 3824 5111 info@happylandhotel.com.vn www.happylandhotel.com.vn</p>	6 月 27 日購入 HIS 発券 手数料込 55,120 円	
4	4(日)	<p>集中講義の後にベトナム航空でプノンペンに入る者 ホーチミン 8:30 VN3851(Cambodia Angkor Air K6 819) 9:25 プノンペン</p>	ベトナム航空 自分で購入 4,212,000 ドン(約 20,000 円)	
		<p>カンボジアについて知る：トンレサップ河畔、王宮(服装規程あり:膝が隠れていること、袖があって肩(腕の最上部を含む。)が出ていないこと。)、市場(Phsar Thmei), Sorya Shopping Center (雷雨等のため時間不足で、国立博物館には行けなかった。)</p> 	徒歩、トゥクトゥク	
		<p>上智大学からの参加者: 成田 10:50 - NH817 - 15:10 プノンペン 新潟国際情報大学一行(学生 5 人、教員 1 人)もこの日の夕食から合流。</p> 		

⁶ 2015 年から、ベトナム出国後 30 日以内に再度入国するにはビザ(シングルで 6,500 円)が必要になった。そのビザは 2 回目の入国時に使うものなので、1 回目では「used」にされないように注意。今回、「used」のスタンプを押されてしまったことに気づいたので取り消してもらった。

5	5(月)	<p>9:00-10:30 大虐殺等を行ったポルポト派幹部の裁判を行っているカンボジア特別法廷訪問⁷ http://www.eccc.gov.kh/en (服装規程あり: ビーチウェア風のもの、半ズボン、サンダル不可。公判が開かれていたため、カメラ等の持ち込みができなかったが、初めて公判を傍聴できた。)</p>   <p>午後: 拷問と虐殺の行われていたトゥール・スレン旧政治犯収容所(Tuol Sleng Museum: Security Prison 21: S-21) 入場料 6 ドル(音声案内機付き) http://www.tuolslenggenocidemuseum.com/ http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html</p>   <p>JVC「農業・農村開発に関する資料・情報センター」</p>	ワゴン車	
---	------	--	------	--

⁷ 2014 年に説明して下さったのは Mr. Pheaktra Neth, ECCC Press Officer <http://www.eccc.gov.kh/en/persons/mr-neth-pheaktra> 2013 年は、前田優子広報官による説明 30 分、ビデオ 10 分、院内見学 15 分に加えて、藤原広人共同捜査判事部分析ユニット長(Office of the Co-Investigating Judges)による具体的課題についての説明も頂けた。

6	6(火)	<p>午前： 虐殺現場(Choeung Ek キリングフィールド) (片道 15 キロ、約 45 分) 入 場料 6 ドル(自動音声案内機付き)⁸ http://www.cekillingfield.org/index.php/en/ http://www.killingfieldsmuseum.com/s21-victims.html</p>  <p>14:30-16:00 JICA カンボジア事務所: 業務説明会参加⁹ (服装は、「カンボジア には遊びに来た。」という様子のものでないこと)</p> 	ワゴン車	
---	------	--	------	--

⁸ http://tokuhain.arukikata.co.jp/phnom_penh/2012/10/post_7.html

⁹ JICA カンボジア事務所は、訪問者が非常に多いため、各グループへの個別対応はせず、火曜と木曜の 14:30-16:00 に業務説明等を行う。2013 年は、加えて、16:00-16:30 に、トゥールスレン虐殺博物館で沖縄県が実施している地域提案型草の根技術協力のフェーズ 1「沖縄・カンボジア「平和博物館」協力」(2009 年 10 月 1 日から 2012 年 3 月 21 日) のビデオを見せて頂けた。

7	7(水)	<p>プノンペン 8:45 バス(314 km、6.5 時間、15 ドル) 15:30 シエリムアップ</p>   <p>ディナーショー(ダンスは 19 時開始。宿を通じて予約。)¹⁰</p>  	路線バス(Giant Ibis)	<p>Bou Savy Guesthouse エアコン付き、バスルーム付き、朝食込み。早期予約割引(1 割)でツイン 22.5 ドル(シングル 18 ドル)。エレベーター無し。2014 年プール新設。学生用にツイン、教員用にシングルをメールで予約。 #261 Group 17 Khum Svay Dangkum, Siem Reap 電話+855 12 898 627 携帯+855 97 4842919 Services @bousavyguesthouse.com; savy7777@hotmail.com http://www.bousavyguesthouse.com/</p>  
8	8(木)	<p>9:00 -10:30 上智大学アジア人材養成研究センター どうしたら現地の人のためになるのかを考えさせられる 日本人が修復してしまいうのではなく、自ら修復できるカンボジア人人材を育てる。</p>   <p>午後: バヨン、バプオン、タ・プロム見学¹¹ 3 日券(不連続可)40 ドル(アンコールワット見学は、予定の遅れや体調不良のため、10 日に実施。)</p>    	ワゴン車	

¹⁰ <http://www.amazon-angkor.com/> いつもは最終日に行くが、今回は国際情報大学一行の帰国便の出発時間が早いため、到着日に行ったもの。

¹¹ 2013 年、14 年とも、夕方にバコン村 Little Angeles 孤児院(内野中学校のビデオレター交換関連訪問)を検討していたが、遅くなったため断念。






9	9(金)	<p>シエムリアップ 07:00 車(60km、1.5 時間) Kampong Kdei JVC(日本国際ボランティアセンター)による生態系に配慮した農業によるシエムリアップ県での家族経営農家の生計改善(CLEAN)プロジェクト訪問¹²</p>  <p>しかし、体調不良の新潟大学の学生たちは Royal Angkor International Hospital に行き、検査と診断の後、1泊して点滴を受け、11万円ほど取られる。但し、この病院の請求書は直接旅行保険会社に行くため、本人負担は無し。¹³ http://royalangkorhospital.com/</p> 	ワゴン車	
---	------	---	------	--

¹² 2016 年は、学校が休みのため、環境教育プロジェクトの訪問は取りやめ。雨の多かった 2014 年は、森林内に水がたまっている箇所があった(マリンシューズが役立った。)。

¹³ 旅行保険会社と契約して、請求書を旅行保険会社に送る医療機関は、シエムリアップではこのみ。他の医療機関の場合、一旦自分で支払い、後に旅行会社に請求することになる。

10	10(土)	<p>遺跡見学、一ノ瀬泰造¹⁴の墓、地雷博物館の見学の予定であったが、新潟大学の学生たちは、退院の後に漸くアンコールワットだけを訪問。</p>  <p>上の左から 3 番目は、参道を修復したカンボジア人たちを紹介する上智大学の看板。右端は、アンコールワット第 3 回廊手前の服装についての注意。</p>	ワゴン車	
		<p>国際情報大学一行 シムリアップ 21:35 VN814 22:35 ホーチミン</p>	ワゴン車	
11	11(日)	<p>国際情報大学一行 ホーチミン 6:10 VN302 13:50 成田 17:55 NH3239 19:00 新潟 (上智大学の学生は、バンコクまで新潟大学グループに同行)</p>		

¹⁴ インドシナ戦取材中の 1973 年に消息を絶った写真家。1982 年になって、探していた両親が、1973 年 11 月にこの場所でポルポト派に殺害されていたことを突き止め、遺骨を発掘。

		<p>シエムリアップ 8:00 バス(153km、2.5-4 時間)¹⁵ ポイペト Poipet カンボジア出国手続き後、徒歩数百メートルでタイの入国手続き。¹⁶</p>   <p>国境タイ側 Rong Kluea Market 発 13:00 路線バス no. 9916¹⁷ 約 250 キロ 18:30¹⁸ バンコク(エカマイ・バスターミナル)を予定していたが、タイの入国管理事務所がカジノ帰りの人たちで著しく混雑していたため、13 時のエカマイ行きに乗れず、14:15 のモチット(北部バスターミナル)行きになった。203 パーツ</p> <p>エカマイ駅 スカイトレイン、4 分 オンヌット駅 徒歩 8 分 ホテルを予定していたが、次のようになった。 モチット・バスターミナル タクシー サバンクワイ スカイトレイン オンヌット 徒歩 ホテル</p>	バス乗り継ぎ	<p>At Mind Executive Suites 朝食付き 1 室 4,000 円 (6 月 29 日 Hotelista で予約済み。 上智の学生は HIS から。) 8 Sukhumvit Soi 85 Bangchak, Prakhanon Bangkok 10260 電話 +66(2)311 4444 Fax: + 66(2)332 9838 info@atmindsukhumvit.com http://www.atmindsukhumvit.com/ 屋上にごく小さなプールあり。</p>
12	12(月)	<p>(毎回訪問の国連は、イスラム教関係の休日で訪問できず。) 午前中、教員が Bumrungrad International Hospital に行ったため¹⁹、その後まずチャオプラヤ川畔のタマサート大学の学生食堂で昼食。続いて王宮を見学。チャオプラヤ川の定期船とスカイトレインを乗り継いでオンヌットに戻って夕食。その後、宿の荷物を取り、空港(上智の学生)とバンコク中央駅(新潟大学一行)へ。</p>   	タクシー、スカイトレイン	<p>車中泊 (今年の冷房は猛烈に効いてはいなかった。)</p>

¹⁵ 2014 年は、宿にピックアップに来たワゴン車がそのまま国境まで行くことになった。しかし、途中で故障し、代替車が来るまで 1 時間待つことになった。

¹⁶ タイでは米ドルが通用しないので両替。タイの ID が無いと買えなくなったとして、タイの SIM カードを購入できず。カンボジアの SIM で海外ローミング。

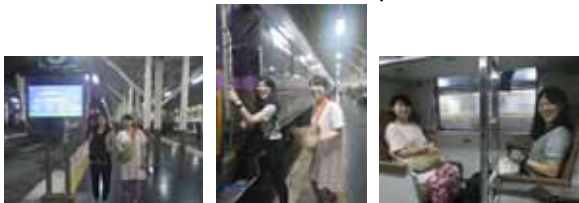



¹⁷ 時刻: <http://www.airaran.co.th/bus-schedule/?lang=en> 国境を挟んでカンボジア側のバスとタイ側のワゴン車を一体にした安い切符を旅行会社が売っているが、タイ側の運転が荒っぽいので利用しない。また、直通バスもあるが、高く、かつ、行き先が我々の宿には行きにくいバンコク北部の Mo Chit バスターミナルなので利用しない。

¹⁸ 2011 年、14 年にこのバスに乗った時には 18 時頃エカマイに到着。次のところにはエカマイ着 17:20 とあった:

<http://www.rottourthai.com/archive/index.php/t-18414.html> このバスは、オンヌット駅の脇を通り、そこで降りた人たちがいた。我々もそこで降りてもらえばよかった。

¹⁹ <https://www.bumrungrad.com/japanese> 今年は初めて日本人医師だった: <https://www.bumrungrad.com/doctors/Kae-Hyakutake>

<http://www.newsclip.be/article/2012/10/12/15508.html>

		<p>上智大学学生： On Nut (Skytrain 20 分、42 パーツ、3 分 35 秒間隔で運行。) - Phaya Thai 19:26– 19:56 Suvarnabhumi Airport (19 時台の列車は 02, 14, 26, 38, 50 発。 45 Bhat) バンコク 22:10 - NH850 -</p>		
		<p>時間不足でバンコク中央駅でシャワー(お湯は出ない。)を浴びることができなかった。</p>		
		<p>バンコク 20:30 67 急行列車(エアコン付き 2 等寝台) (575 キロ)²⁰</p> 	タイ国鉄夜行列車寝台 2 等エアコン付き	
13	13(火)	<p>上智大学学生： - NH850 - 6:20 羽田</p> <p>67 急行列車 07:25 ウボンラチャタニ²²</p> 		<p>Leena Guesthouse²¹ エアコン、お湯のシャワー、テレビ付、朝食別 1 室 100,000 kip (約 1,300 円)。メールで直接予約。 Choakeem Road Khaisonephomvihane District Savannakhet Province Phone: +856 41 212404 20 9927 4994; 20 5564 0697 leenaguesthouse@hotmail.com Runkeem@yahoo.com http://leenaguesthouse.blogspot.jp/</p> 
		<p>ウボンラチャタニ駅 ソンテオ(30 分) バスターミナル</p>	ソンテオ	
		<p>Ubon Ratchathani 9:30 – 167 km – 11:35Mukdahan (昼食)²³ ウボンラチャタニ発は 1 本前になったが、到着は 11:35 だった。 ムクダハンのバスターミナル脇の食堂で昼食。</p> 	路線バス	

²⁰ バンコクの旅行会社 Travex に依頼して購入した切符は宿に配達しておいてもらった。 <http://www.thailandtrainticket.com/index.html>



2013 年は、出発時刻の 20:30 になっても列車は入線せず、漸く 20:50 に入線。しかし、発車は漸く 21:50。

²¹ 2013 年まで使っていた宿は、収容力がぎりぎりのため、2014 年は収容力の十分なこちらに変更。

²² 2013 年は、途中 4 時間以上遅延。食堂車でゆっくり朝食をとってもなおその先が長く、11 時にウボンラチャタニに到着。

²³ 2013 年は、9:30 のバスを予定していたが、列車の大幅な遅れのため、次の次のバスとなる。このバスは、トイレ付きで、2 時間余りで到着。ムクダハンのメコン河畔への往復は断念。ムクダハン・バスターミナルに両替できる場所は無く、手数料を約 500 円も取る ATM が 1 台だけあった。

Ubon Ratchathani (バスの待ち時間に昼食) 13:30 167 km 15:35Mukdahan

		<p>ムクダハン 14:30-バス(第二メコン河大橋)-15:30 ワナケート(Savannakhet)²⁴の予定だったが、ムクダハンの町まで行かなかったため、ムクダハン発 12:30 のバスに乗れてしまった。</p> <p>SIM カードを購入。銀行で両替</p>	<p>路線バス 7:30 から 17:30 まで 1 時間 毎 に 運 行 。 そ の 後 19:00 に 1 便。</p>	
14	14(水)	<p>9:30-11:30 セノ(SENO)の町にあるウートンボン郡病院に青年海外協力隊員(助産師)を訪問²⁵</p>  <p>15:00-16:45 JVC 事務所でプロジェクト等の説明を受ける。</p> <p>バスターミナルで 16 日のフエ行きバスの切符を購入。途中から乗ることを伝える。</p> <p>メコン河畔の Lao Derm Savan (+856 41 252 142)で JVC ラオス代表夫妻、日本人スタッフ、上記青年海外協力隊員(助産師)、青年海外隊員(教員養成短大・小学校教育)、同(農林局・獣医)と夕食。</p> 	<p>宿の人の車で往復(謝礼を支払う。)</p>	

²⁴ 2013 年は、ラオス側入国の際、入国カード記入のために時間のかかった我々を置いてバス(タイのバスとラオスのバスがあるうち、我々の便はラオスのバス)は行ってしまった。入国管理事務所職員の手助けにより、バンで宿に向かった。バンは 400 バーツだったが、宿がわからず、余計に走った運転手は少し余計に欲しいと言い、500 バーツを払った。

²⁵ 2013 年は、青年海外協力隊員(数学教育)を Oudomvilay Secondary School に訪問。2014 年は、15:00-16:30 頃に青年海外協力隊員(陸上競技)を県陸上競技場に訪問(約 30 分間説明、準備の後の 16 時からの練習を見学。同じ敷地内のバレーボールも見学させて頂けた。)

15	15(木)	<p>8:00²⁶ (165 キロ、3 時間) ピン(Phin または Phine) JVC の「森林保全と持続的な農業の推進」プロジェクト見学。²⁷</p> 	四輪駆動車をチャーター	<p>Tang Kham Guesthouse セタムアク(ピンの西) エアコン、お湯の出るバスルーム (シャワー)、朝食無し。ネット無 し。 020-23344442, 96615353²⁸</p>
----	-------	--	-------------	--

²⁶ 2013 年は、宿の人たちの寝坊により、出発が 1 時間遅れた。

²⁷ 2013 年は、森林保全部分を訪問の予定であったが、途中の川の増水のため、四輪駆動車でも涉ることができなかったため、別の村で政府が海外の企業に森林をゴム園にしている問題、伝統的な焼き畑等を見学。

²⁸ 2014 年はピンの Sysomephone Hotel (+856-41-21486、+856-20-22312603、+856-20-9852-2888。朝食無し。シングル 15 ドル)。2013 年はセタムアクの Vongpasouk Guesthouse。

16	16(金)	<p>セタムアク 11:15 バス (76 キロ、2 時間) Dansavanh で降車 (徒歩 5 分) Lao Bao でラオス出国手続きとベトナム入国手続き²⁹ バス(80 キロ、2 時間)³⁰ Dong Ha(トイレ休憩無し) バス(72 キロ、1 時間半) – 16:00³¹フエ南部バスターミナル タクシー³² ホテル</p> 	<p>サワナケート 9:00 発フエ行(11 万キップ)に途中から乗る。</p>	<p>Phuong Hoang Hotel エアコン、バスタブ、朝食付き。1 室 1 泊 1,563 円+税 243 円=1,806 円。Hotels.com から予約。 48/3 D Le Loi, Hué, Viet Nam Phone: +84 54 3826736 Fax: +84 54 3828999 phoenixhotel@dng.vnn.vn 行ってみると改装工事で休業中だった。オーナーが同じという Amigo Hotel に変更。朝食付きツイン 25 ドル、シングル 20 ドル。 http://amigohotelhue.com/ amigohotelvn@gmail.com</p>
17	17(土)	<p>フエ市内見学(ベトナムの王朝・世界遺産を見る: 王宮、市場等)</p>  <p>安くコース料理が食べられる Hanh 食堂を発掘。地元客多数に外国人も混じる。</p>	<p>徒歩</p>	

²⁹ バスは、ラオス側の Dansavanh で乗客を降ろした後、先にベトナム側の Lao Bao に行って待っている。前回まで、ラオスの出国に賄賂がまかり通っていたが、我々は拒否。今回、ベトナム側のブースにラオス出国とベトナム入国の窓口が並び、前回までのようなラオス出国の賄賂と混乱がなかった。

³⁰ 2014 年は、途中でエアコンが故障し、窓の開かないバスでどうなることかと思ったが、運転手と助手が修理することができた。


³¹ 前回までに比べて、サワナケート出発が 1 時間早まった上、ラオス内の道路の改良(舗装の上乗せ)が進み、途中での休憩が無くなり、更にドンハ・フエ間の道路改修がほぼ終了したため、セタムアク出発が 1 時間 45 分早まり、フエ到着が従来よりも 3 時間早まった。**トイレ休憩が無くなってしまったので、ラオスの出入語句管理事務所の横にある建物のトイレに立ち寄ることが必須となった。**

³² 2014 年は、宿に電話して 7 人乗りタクシーを手配してもらった。しかし、台数不足のため同じ車が往復した。2013 年は、フエのバスターミナルからのタクシーは、メーターを使えば約 5 万ドンのところ、他にタクシーがなく、荷物も多いため、足元を見られて 1 台 15 万ドン(2 台)を取られた。今回、予約客のあったピナサンタクシーが同社の別のタクシーを呼んでくれた。信頼できる会社であり、何も言わなくてもメーターで走ってくれた。

18	18(日)	<p>8:30 南北分断時代を見る: La Vang Church、Quang Tri の城塞都市跡、Mine Action Visitor Center³³、Vinh Moc の地下トンネル、旧南北ベトナム国境(Ben Hai 川)見学</p>  <p>最後の夕食はこれまで通り Y Thao Gardens</p>	車をチャーター ³⁴	
----	-------	---	-----------------------	--

³³ <http://www.landmines.org.vn>。 土日は休みだが、運転手の事前依頼により、無人ながらドアを開けておいてくれた。

³⁴ 2013 年と 2014 年は、宿手配の車が高かったため、Annam Tour (Mr. Van Ngoc Vu。 Mobile: 0905 140 600 www.annamtour.com Email: info@annamtour.com or annamtour@gmail.com。 159B Quoc Lo 9 street, Dong Ha city, Quang Tri)に依頼。 2014 年は、大学で観光学を学んで卒業したばかりというガイド(25 ドル)をつけたが、彼は知識や案内方法に関し不十分であった(本学の引率教員のほうが知識あり。)。また、ダナン空港への車の運転が荒っぽかった。今回は宿に依頼。この運転手は知識もあり、かつ安かった。

19	19(月) (敬老 の日)	<p>午前 Thien Mu 寺 車は、政府の腐敗に抗議してサイゴンで焼身自殺した僧侶がサイゴンに行くのに使ったもの</p>     <p>衣類製造直売の Ken Silk を発掘</p> <p>宿 16:00 タクシー 16:30 フェ空港 18:00 VN1375 19:20 ホーチミン</p>    <p>飛行機が 1 時間半遅れ、加えて荷物が出てくるのも最後だったが、Cyclo Resto の人たちは待っていてくれた。</p>	タクシー	<p>Happy Land Hotel 直接予約 2 ベッド室 35 ドル 102-104 Ly Tu Trong Street, District 1, Ho Chi Minh City Phone 08 3824 5111 info@happylandhotel.com.vn www.happylandhotel.com.vn</p>
20	20(火)	<p>ホテル 4:00 タクシー ホーチミン 6:10 VN302 13:50 成田 17:55 NH3239 19:00 新潟</p>		

教員が、SIM フリーのスマートフォンを持参。電話番号は、それぞれの国で SIM を購入することにより得られる。

ホーチミンの宿

Blue River Hotel

バックパッカー等の外国人の多いパム・グー・ラオ地区にあるが、パム・グー・ラオ通のすぐ裏の小路にあるため静か。無料 WIFI あり。

いずれも朝食付き、税込みで(ドン建てのため、為替レートにより変動)

Studio (22.51USD)

小さな窓付き Superior (25.62USD)

大きな窓付き Deluxe (29.50USD)

283/2C Pham Ngu Lao Street, Dist 1, Ho Chi Minh City

電話+84 8 383 764 83, 携帯+84 90 367 9994

blueriver1126@yahoo.com <http://www.blueriverhotel.com/>

Happyland Hotel (往復の乗り換え用。フロント 24 時間対応)

102-104 Ly Tu Trong Street, District 1, Ho Chi Minh City

Phone 08 3824 5111 info@happylandhotel.com.vn

www.happylandhotel.com.vn (新潟京浜ホテルがオーナー)

プノンペンの宿

Home Chic Hotel(全 23 室)

朝食付き 1 室 3,228 円(Agoda から国際情報大学の先生予約)。エアコン付き、wifi 無料。小さなプールあり。できたての様子。

No. 17, St. 282, Koeung Keng Kang I Khan Chamka Morn Phnom Penh

電話+855 77 556 528

<https://www.facebook.com/Home-Chic-Hotel-854316604714239/>

シエムリアップの宿

Bou Savy Guesthouse

無料 WIFI あり。エアコン、お湯の出るバスルーム(シャワー)付き、朝食込みで、シングル 20 ドル、ツイン 25 ドル、トリプル 30 ドル

(ほかにエアコン無しでファンだけの部屋もある。)

2014 年 8 月、プール新設。町の中心に徒歩で行けるが、敷地内に樹木が多い。通りから数十メートル入ったところ。静かだが、夜間に 1 人で歩いて戻るには要注意。

#261 Group 17 Khum Svay Dangkum Siem Reap

電話 +855 63 964 967 携帯電話 +855 12 898 627

services@bousavyguesthouse.com savy7777@gmail.com

<http://www.bousavyguesthouse.com/>

バンコクの宿

At Mind Executive Suites(長期滞在用ワンルーム)

無料 WIFI あり。朝食・税・サービス料込約 4,000 円

8 Sukhumvit Soi 85, Bangchak, Prakhanon, Bangkok 10260

電話 +66(2)311 4444 Fax: + 66(2)332 9838

info@atmindsukhumvit.com <http://www.atmindsukhumvit.com/>

新しく、きれい。ごく小さなプールあり。スカイトレイン On Nut 駅から徒歩 7-8 分。スタッフの対応は必ずしも良くない。駅につながったショッピングセンターにカフェテリア、タイスキレストラン。

対立している 2 つの政治勢力が占拠しやすい地域から離れた空港側。

サワナケートの宿

Sala Savanh Guesthouse

エアコン、お湯のシャワー、ネット、朝食付きツイン 23 ドル。

Tel : + 856-20-7794-58-38 , 5663-00-22 (manager) Fax +

856-41-252-096 sala_lao@hotmail.com); salalao@laotel.com

<http://www.salalao.com/Salalao/Content/Savanh.htm>

または

Leena Guesthouse

エアコン、お湯のシャワー、テレビ付、朝食別 1 室 100,000kip (2014 年は 90.000 kip)。WIFI は食堂付近からの様子。

Choakeem Road, Khaisonephomvihane District, Savannakhet Province

Phone: +856 41 212404 20 9927 4994; 20 5564 0697

leenaguesthouse@hotmail.com Runkeem@yahoo.com

<http://leenaguesthouse.blogspot.jp/>

2014 年に初めて利用。バックパッカーが多いとされる。

ピン付近の宿: JVC に予約を依頼。Tang Kham Guesthouse セタム

アク(ピンの西) エアコン、お湯の出るバスルーム(シャワー)、朝食無し。ネット無し。020-23344442, 96615353 2013 年は、向かいにベトナム

食堂があり、かつ、目の前が国道でバスに乗るのに便利な Sysomephone Hotel。+856-41-21486 +856-20-22312603 +856-20-9852-2888

エアコン、お湯の出るバスルーム(シャワー)、朝食無し。ツイン 120,000 キップ、シングル 100,000 キップ。ネット接続無し。2014 年はセタム

アクの Vongpasouk Guesthouse。

フエの宿

Phuong Hoang Hotel

新市街の中でも外国人の多い中小の宿や飲食店の多いフォン川沿いにあるが、小路の中にあるので静か。川の対岸の城塞都市(世界遺産)地区にも歩いて行ける。無料 WIFI あり。

エアコン、バスタブ、朝食付き。ツイン 24 ドル、シングル 18 ドル(2014 年)。

但し、我々には 1 日 1 人 1 ドル割引してくれた。

48/3 D Le Loi, Hué, Viet Nam,

Phone: +84 54 3826736 Fax: +84 54 3828999

phoenixhotel@dng.vnn.vn

ベトナム航空

<https://www.vietnamairlines.com/ja/>

タイ国鉄

<http://www.railway.co.th/home/Default.asp?language=Eng>

JICA カンボジア事務所

<http://www.jica.go.jp/cambodia/office/>

JICA ラオス事務所

<http://www.jica.go.jp/laos/office/index.html>

日本国際ボランティアセンター

<http://www.ngo-jvc.net/>

カンボジアでの活動: <http://www.ngo-jvc.net/jp/projects/cambodia/>

ラオスでの活動: <http://www.ngo-jvc.net/jp/projects/laos/>

上智大学アジア人材養成研究センター

<http://www.info.sophia.ac.jp/angkor/jp/>

<http://angkorvat.jp/doc/about/bokin.pdf>

外務省海外安全ウェブサイト

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

カンボジア: 全地域: 「十分注意してください。」銃器が出回っている。強盗事件、強姦事件や麻薬等違法薬物犯罪などが特に増加傾向。単独行動や夜間の外出は極力避け、常に周囲を警戒すること。交通事故の発生件数も大幅に増加。与野党支持者間の暴力事件がある。2017 年の地

方選挙、2018 年の国政選挙に向け、今後更に緊張が高まる可能性は否定できないため、情勢の変化には十分注意する必要がある。

重い病気や負傷の場合にはタイやシンガポール等に緊急移送。

ラオス: 北部の県道 5 号線付近等、断続的に反政府勢力と政府軍との間で小競り合いが発生している地域: 「渡航の是非を検討してください。」その他の地域(今回の訪問地を含む.): 「十分注意してください。」重い病気や負傷の場合にはタイなどへ緊急移送。

タイ: 南部や東北地方のカンボジア国境近く(プレアビヒア寺院の周辺地域): 「不要不急の渡航は止めてください。」バンコク: 「十分注意してください。」2014 年 5 月のクーデター後の軍政下で、厳しい言論・集会規制。2 つの政治勢力の間の発砲、爆弾等の事件。バンコクへの渡航・滞在に当たって危険を避けるため特別な注意が必要。また、銃器が出回る中、日本人をカモにした日本人が被害者となる詐欺、窃盗、強盗事件。

ベトナム: 危険情報無し。(但し、ひったくり等、犯罪被害に注意。)

外務省海外安全情報の危険レベル

「十分注意して下さい。」: 海外安全情報に書かれている具体的危険について対策をとるのであれば、一般人も渡航可能。

「不要・不急の渡航は止めて下さい。」: 開発途上国での活動を業務としている企業、団体等で、緊急時の体制を持っているものの職員は渡航可能であるが、その他の者の渡航は危険。

「渡航は止めて下さい。」: 開発途上国での活動を業務としている企業、団体等で、緊急時の体制を持っているものの職員であっても渡航は危険。

「退避して下さい。渡航は止めて下さい。」: 誰にとっても極めて危険な状態。安全な国・地域に速やかに退避すべき。

(被害者になる得る危険についての情報だけでなく、見知らぬ人から預かった物が麻薬で、麻薬に厳しいマレーシアで控訴審でも死刑判決となった日本人女性の例ように、犯罪者となるおそれについても注意。多くの国は 18 歳で成人と見なされることにも併せて注意。)

旅レジ

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

医療・健康関連情報へのリンク:

http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html